

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 12 月 10 日 (2015.12.10)

【公表番号】特表 2015-503456 (P2015-503456A)

【公表日】平成 27 年 2 月 2 日 (2015.2.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-007

【出願番号】特願 2014-549634 (P2014-549634)

【国際特許分類】

**B 2 3 B 27/16 (2006.01)**

【F I】

B 2 3 B 27/16 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 10 月 21 日 (2015.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】

切削インサート (24、124) を取り出しキー (26) によって切削工具 (20、120) から取り出す方法であって、

前記切削工具 (20、120) は、請求項 1 ~ 18 のいずれか一項に記載のものであり

、

前記インサート受けスロット (42) は、前記ベースあご下面 (64) に向かって面するクランプあご上面 (80) を含み、

前記切削インサート (22、122) は、前記クランプあご上面 (80) と前記ベースあご下面 (64) との間で弾性的にクランプされており、

前記取り出しキー (26) は、少なくともひとつの突出部 (40) を有し、前記少なくともひとつの突出部 (40) は、第 1 および第 2 の係合部 (82、84) および単一の枢軸 ( $A_p$ ) を含んでおり、

前記取り出しキー (26) を、前記第 1 および第 2 の係合部 (82、84) がそれぞれ、前記ホルダー通路 (66) および前記インサート通路 (38) に同時に係合されるように、前記切削工具 (20、120) に関して位置決めし、前記枢軸 ( $A_p$ ) が、前記ホルダー通路 (66) 内に位置するステップと、

前記取り出しキー (26) を、前記枢軸 ( $A_p$ ) を中心として一方向に回転して、取り出し力 ( $F_E$ ) を前方向 ( $D_F$ ) で前記切削インサート (22、122) に印加するステップと、を含む、

方法。